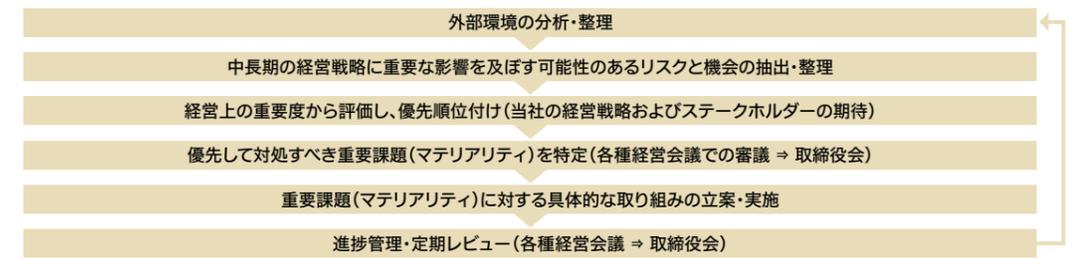


リスクと機会・重要課題(マテリアリティ)

大建工業グループの中長期の経営戦略に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクと機会に加え、これらを踏まえて優先して対処すべき重要課題(マテリアリティ)を以下のとおり特定しています。特定に当たっては、CSR委員会など各種経営会議における審議を経て、取締役会の意見を反映して決定しています。また優先して対処すべき重要課題(マテリアリティ)は、中期経営計画や中期ESG計画の方針、重点施策に連動させるとともに、目標を設定した上で取り組みを進めています。

リスクと機会・重要課題(マテリアリティ)の特定プロセス



社会課題・ニーズ(外部環境・トレンド)
気候変動・温暖化 生物多様性 森林保全・伐採規制
資源の枯渇
日本政府成長戦略等 グリーン成長戦略・カーボンニュートラル 脱炭素社会に向けた住宅循環システムの構築 デジタル化、DX 国土強靱化・次世代インフラ整備 観光立国の実現
感染症の拡大
自然災害の脅威
日本国内少子高齢化 人口減少、世帯数減少 過疎化 生産年齢人口の減少 女性の社会進出の加速
世界的な人口増
サステナビリティ経営への要請

リスク と 機会
脱炭素の要請
木質資源の調達難
持続可能な木質資源を活用した素材ニーズ
代替資源への転換ニーズ
高齢者や子供も安心して過ごせる空間ニーズ
地方創生・コンパクトシティ
良質な住宅ストックの形成
レジリエントなまちづくり・再開発プロジェクト
インバウンド需要
コロナ禍を契機とした新たな日常
事業活動・サプライチェーンの寸断
人財不足
多様な人財が能力を発揮する機会の拡大
建設技能者不足を補う製品・工法開発ニーズ
国内新設住宅着工戸数の減少
海外の成長市場における質の高い住環境に対する継続的な需要拡大
リスクと機会に対応し企業価値を高める経営力

重要課題(マテリアリティ)
脱炭素社会への貢献
持続可能な木質資源活用の追求
資源循環型社会への貢献
豊かな生活空間の実現
建設現場の生産性向上
リスクマネジメント推進
人財活用
製品の品質と安全
市場ポートフォリオの見直し
ガバナンス強化

重要課題(マテリアリティ)に関する取り組み	
E	温室効果ガス排出削減 ESG経営の実践 E:環境 ▶P49-50
E	再生可能エネルギーの利用促進
	国産木材の活用促進 木質資源の循環利用 CO ₂ 排出抑制 未利用資源の有効活用 安全・安心・健康・快適な空間づくり 耐震化の推進 省施工製品及び工法の開発 事業を通じた価値創造 ▶P25-28
G	BCPの強化 ESG経営の実践 G:リスクマネジメント ▶P65
S	ダイバーシティ推進 働き方改革の推進 人財育成の強化 労働安全衛生の強化 品質管理体制強化 ESG経営の実践 S:人財 ▶P51-53
	注力市場への展開 海外市場 公共・商業建築分野 住宅リフォーム市場 ESG経営の実践 S:品質 ▶P54
	注力市場への取り組み ▶P36-42
G	グループ企業理念の実践 ESG経営の実践 G:グループ企業理念浸透に向けた取り組み ▶P66

※「事業等リスク」の詳細につきましては、有価証券報告書に記載しています。